みんなの文芸

榎本順江選　投稿数18句

柊にひょっとこ口のイワシかな　皆野小五年　太幡琉美花

（評）節分の夜、焼いた鰯の頭を柊に刺し戸口に挿して無病息災を願う。その鰯がヒョットコ口をしている、ヒョットコは火男、火を吹く時の顔付からと言う。鰯も疫病神を吹き飛ばしているのかも。ユーモラスな顔を上手く捉えた。二句目、皆既月食がある事を教えて貰い、よく晴れた夜空の天体ショーに魅入った。厳しい寒さの中素晴らしい夜でした。三句目、豆撒きの大声と犬の遠吠えに鬼も退散して、暦の上では明日から春です。

告げられて皆既月食見る寒夜（かんや）　下田野　新井　節子

歳月は人を待たずや春立ちぬ　皆野　根岸　詩子

大声と遠吠え響く鬼やらい　皆野　吉岡　貞良

七福神巡り終わりて灯白し　国神　藤原マキ子

皆既月食赤銅色に寒夜更け　三沢　眞下　杏子

二ン月や上衣（うわぎ）は色で決めてみむ　皆野　引間　千鶴

冬いちご大福餅に透ける紅　三沢　新井　民子

雪を割り笑うが如（ごと）く秩父紅　皆野　保科　従道

鬼遣（や）らい精一杯のかすれ声　三沢　新井　叶子

ろう梅のほのかにほう春ちかし　金崎　堀口あいの

短歌　全16首

悲しみやうれしく切ない事もある人工知能は知るのだろうか　三沢　鈴木　貞恵

すくむ足上から見わば吊り橋のまわりを埋める氷柱（つらら）群　皆野　保科　従道

初詣の子の土産なる招き猫玄関に福招き立春　三沢　眞下　杏子

初めての神社の行事終わりをり季節巡りて清清し朝　三沢　新井　民子

煽られて風の強さに耐え凌ぎ木々の芽吹きの逞（たくま）しさ見る　皆野　根岸　詩子

二十センチ大雪混乱一メートル日常平穏広いぞふるさと　皆野　戸塚喜久雄

何を食べ今日の命を繋ぐのか雪の中行く二匹の狸　下日野沢　浅見　豊子

本門寺にぎわう人の波にのり娘家族と納経すませ　国神　藤原マキ子

玻璃（はり）越しに受くる陽射しは柔らかでラジオ聴きつつ手揉む脚揉む　皆野　引間　万亀

極寒に噴火白根の映像の負傷者救助見つむ雪の日　上日野沢　四方田利男

双六や歌留多に興じるお正月曾孫らの声部屋にあふるる　皆野　関根　助市

春彼岸誰が墓参か新供花亡き子好し酒添えたまいて　下日野沢　中村　八郎

風も無く石は冬日にあたたまり猫の親子は座り動かず　下田野　新井　節子

地震豪雪噴火災と相次ぐ惨事に列島揺らぐ　三沢　新井　叶子

おには外豆まくたびにパラパラと犬がかけよりひろい食いする　皆野小五年　太幡琉美花

元朝の二十三夜寺賑わいて朝の時間にテレビ入りて　皆野　村田ハツ代

俳句・短歌を募集

作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名を明記して総務課へお寄せください。

3日必着

1人1句、1首に限ります。

1歳になる赤ちゃんを募集しています

ご応募いただいた赤ちゃんは、全員掲載します。誕生月の前月10日までに総務課窓口（写真をご持参ください）または、町ホームページからお申し込みください。

4月号の締め切りは、3月10日（土）まで。

問合せ　総務課
企画政策防災担当
☎62-1231

春季全国火災予防運動

3月1日（木）～7日（水）

【全国統一防火標語】

火の用心　ことばを形に　習慣に

火の取り扱いには充分注意しましょう。

児童の見守り放送

三沢小5年　河村　怜音（れお）さん

今月の題字

三沢小3年　荒船　真咲（みさき）さん